

# SJクイズ

[問題編]



Q1

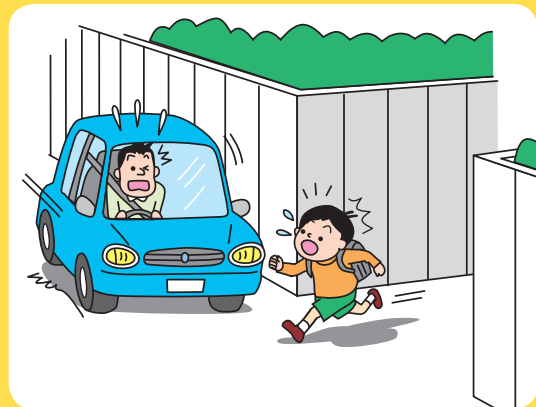
平成 25 年の子ども（15 歳以下）の交通事故負傷者数は 5 万 5604 人と前年に比べ 5.9% 減少しましたが、子どもの死者数は前年に比べ、どのような状況でしょうか？

- ① 約 2% 増加    ② 約 1% 増加    ③ 約 1% 減少    ④ 約 2% 減少

Q2

平成 25 年の交通事故死傷者数を年齢層別・状態別にみると、子どもの歩行中の割合は何歳がピークとなっているでしょう？

- ① 5 歳    ② 7 歳  
③ 9 歳    ④ 11 歳



Q3

過去 5 年間（平成 21 ～ 25 年）の小学 1・2 年生の歩行中死傷者数を月別にみると、最も多いのは何月でしょう？

- ① 4 月    ② 5 月    ③ 6 月    ④ 7 月

**【使用上の注意】**

● 営利目的での利用はおやめください ● 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ● その他、使用に関するご質問はお問い合わせください  
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL: 03 (5412) 1736

# SJ クイズ ?

[ 解答・解説編 ]

## Q1 解答 ① 約2%増加

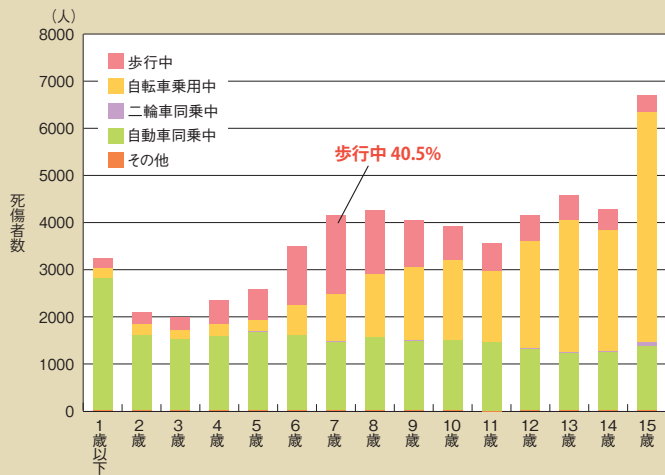
### <解説>

平成25年の子ども（15歳以下）の交通事故死者数は94人と前年に比べ2人（2.2%）増加した。これを状態別にみると、自動車乗車中（-4人）、二輪車乗車中（-2人）では減少しているが、歩行中（+4人）、自転車乗車中（+4人）では増加している。こうした事故を防止するため、子どもが利用する生活道路では、いつも以上にスピードを控えるなど、ドライバー・ライダーは子どもを守る運転を心がけなければならない。

## Q2 解答 ② 7歳

### <解説>

平成25年の子どもの交通事故死傷者数を年齢層別・状態別にみると、歩行中が占める割合は年齢が上がるにつれて増加し、7歳でピーク（40.5%）に達する。7歳は小学1・2年生にあたる年齢である。小学生の歩行中死傷者数を法令違反別（第1・第2当事者）にみると、58.8%は何らかの違反がある。違反の内容は58.3%が「飛び出し」となっているため、道路を横断する時は必ず止まって右左右を覗くことを、幼児の段階から身につける教育が重要である。

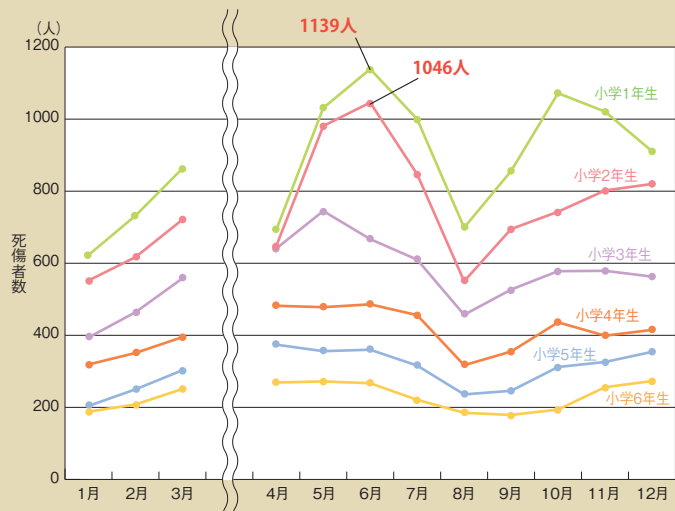


● 15歳以下の年齢別・状態別死傷者数 (平成25年)

## Q3 解答 ③ 6月

### <解説>

過去5年間（平成21～25年）の小学1・2年生の歩行中死傷者数を月別にみると、6月が最も多く、5月、7月と続く。通行目的別では登下校（31.3%）、遊戯（19.7%）、訪問・買物（17.5%）の順に多い。5月以降は小学生が新学年の生活に慣れ、気が緩むことが考えられる。10月から11月にかけても再び増加するため、小学生には1年を通じた継続的な交通安全教育を学校や家庭で行っていくことが必要である。通学路だけでなく、普段利用する道路に潜む危険を子どもと一緒に確認し、安全な交通行動が身につくよう繰り返し教えましょう。



● 小学生の歩行中死傷者数の月別推移 (平成21～25年)

※文中のデータ、グラフの出典は警察庁資料

**【使用上の注意】**

● 営利目的での利用はおやめください ● 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ● その他、使用に関するご質問はお問い合わせください  
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

